

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年7月7日	
青森知事 殿	
<p>提出者 住 所 青森県弘前市大字田町3丁目2番地1</p> <p>氏 名 株式会社 西 村 組 代表取締役 太田 浩幸</p> <p>（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）</p> <p>電話番号 0172-32-2468</p>	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社 西 村 組
事業場の所在地	青森県弘前市大字田町3丁目2番地1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	完成工事高 2,846,129 千円（3年平均）
③従業員数	41名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場 → 自己運搬又は収集運搬業者 → 処分業者へ委託

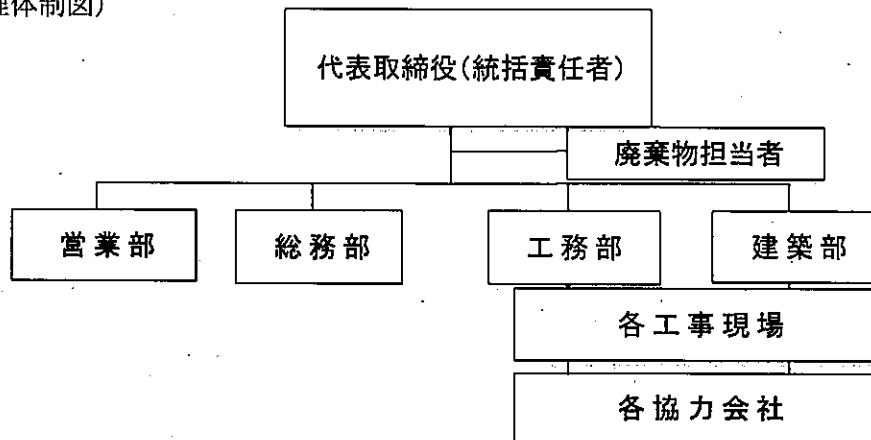
（日本工業規格 A列4番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排 出 量	1,713.220 t	173.830 t
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物発生抑制に関する社内研修を実施する。 ・環境関連の法令等について、改正があった場合対応できる様に最新の内容を把握する。 ・梱包材の簡素化、養生材の削減を図る。 ・外壁材など、製造業者が端材回収・リサイクルを行っているものについては、システムの活用を推進する。 ・紙類については、可能な限り古紙リサイクル業者の回収に回す。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排 出 量	1,670.000 t	170.000 t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を継続しつつ、下記の取組も実施する。 ・プレカット品の推進（木材、石膏ボード等） ・解体工事では、建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組む。 ・分別を徹底し、混合廃棄物の削減に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートがら、アスコンがら、その他がれき類、ガラス・陶磁器くず、廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、廃石膏ボード等について分別している。また、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物について、他の産業廃棄物と混合することのない様注意する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 社内教育・研修などを継続して実施し、分別の徹底を図る。また、併せて発生抑制、適正処理及び再生利用等についても推進を図る。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
排 出 量	15.020 t	48.658 t	51.151 t	20.677 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
排 出 量	14.700 t	47.700 t	50.000 t	20.000 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
排 出 量	6.144 t	164.407 t	1.340 t	144.020 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
排 出 量	6.000 t	161.000 t	1.300 t	141.000 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
排 出 量	17.500 t	6.660 t	0.100 t	7.650 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
排 出 量	16.600 t	6.500 t	0.090 t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面) - 2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	1,713.220 t	173.830 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	62.530 t	13.400 t
	再生利用業者への 処理委託量	1,650.660 t	160.430 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 委託先の産業廃棄物処理業者の選定にあたっては、排出された産業廃棄物が適正に処理されること、またできるだけ再生利用されることに留意した。		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
全処理委託量	15.020 t	48.658 t	51.151 t	20.677 t
優良認定処理業者 への処理委託量	8.860 t	13.670 t	13.870 t	0.340 t
再生利用業者への 処理委託量	6.160 t	22.180 t	13.024 t	20.337 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	24.257 t	- t

(第4面) - 3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
全処理委託量	6.144 t	164.407 t	1.340 t	144.020 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1.760 t	9.880 t	0.180 t	111.170 t
再生利用業者への 処理委託量	4.384 t	109.747 t	0.130 t	13.740 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第4面) - 4

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
全処理委託量	17.500 t	6.660 t	0.100 t	7.650 t
優良認定処理業者 への処理委託量	6.950 t	6.090 t	0.100 t	- t
再生利用業者への 処理委託量	8.450 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第5面)

②計画	【目標】	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
		全処理委託量	1,670.000 t	170.000 t
		優良認定処理業者への処理委託量	66.800 t	13.400 t
		再生利用業者への処理委託量	1,603.200 t	156.600 t
		認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 委託する産業廃棄物処理業者の選定にあたっては、排出された産業廃棄物が適正に処理されること、また再生利用率等に留意し、優良認定の有無、処理施設、リサイクル技術、受入能力、管理体制などを考慮して慎重に行う。また、電子マニフェストの利用にも取り組む。			
※事務処理欄				

【目標】				
産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず
全 処 理 委 託 量	14.700 t	47.700 t	50.000 t	20.000 t
優良認定処理業者 への処理委託量	8.700 t	14.300 t	13.500 t	0.340 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	6.000 t	21.400 t	12.500 t	19.660 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	23.500 t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
全 処 理 委 託 量	6.000 t	161.000 t	1.300 t	141.000 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1.740 t	9.700 t	0.200 t	108.800 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	4.000 t	107.500 t	0.120 t	13.400 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	動植物性残さ
全 処 理 委 託 量	16.600 t	6.500 t	0.090 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	6.640 t	6.000 t	0.090 t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	8.000 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。